

(ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針に則る情報公開)

このたび以下の研究を実施いたします。本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

本研究の研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧をご希望の場合や個人情報の開示や個人情報の利用目的についての通知をご希望の場合も問い合わせ窓口にご照会ください。なお、他の研究参加者の個人情報や研究者の知的財産の保護などの理由により、ご対応・ご回答ができない場合がありますので、予めご了承ください。

【研究計画名】 向精神薬によるQT延長リスクの遺伝学的評価

【研究責任者】 神経研究所 疾病研究第三部 功刀浩

【本研究の目的及び意義】

精神科疾患の治療に使用する薬（これを向精神薬といいます）の中には、ごく希に心臓に不整脈を引き起こして最終的に心臓が動かなくなる副作用を引き起こすものがあります。こうした副作用が起きる人には元々心臓の動きに多少の問題がある可能性があり、その問題を持っているかどうかは遺伝子を調べることでわかる可能性があります。しかし現時点ではどのような遺伝子の問題が向精神薬による不整脈の原因になるのかまだ詳しくわかっていません。この研究ではそうした問題の原因となりうる遺伝子の問題の有無を調べることを目的としています。こうした問題がわかれば向精神薬を飲む前に、危険な副作用を起こしやすい体質であるかどうかを事前に知ることができるようになることが期待され、今後向精神薬で治療を受ける人たちにより安全な治療を提供できるように

なるという意義があります。

本施設では遺伝子の解析は行わず、遺伝子の解析を行っている獨協医科大学精神神経医学講座(研究責任者 下田和孝)に検体を提供して解析を行います。また皆様の病気に関連する情報もフラッシュメモリに記憶させ手渡しで提供します(詳細は下記ご参照ください)。情報提供の際には匿名化して提供し、提供先では情報は鍵がかかる保管庫に保存をして、インターネットに直接繋がった機器には保存しません。

#### 【本研究の実施方法及び参加いただく期間】

#### 対象となる方

2003年12月1日以降、『気分障害・精神病性障害に関する遺伝子解析研究-第二期-』に参加された方

#### 利用する試料・情報等

試料：DNA

情報等：診療録(診断、年齢、性別、罹病期間、心電図、血漿中カリウム濃度、身長と体重、服薬内容)

#### 研究期間

2018年4月16日より2022年3月31日まで

#### 【共同研究機関】

獨協医科大学病院      研究責任者 下田和孝 (研究代表者)

2018年4月16日

○ 問い合わせ窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター 疾病三部

氏名 功刀浩

e-mail : hkunugi@ncnp.go.jp

獨協医科大学精神神経医学講座

氏名 下田和孝

電話番号 0282-87-2153 (平日:10時00分～18時00分)

○ 苦情等に関する窓口

国立精神・神経医療研究センター倫理委員会事務局 (rinri-jimu@ncnp.go.jp)